

令和6年 知事表彰「かがわ21世紀大賞」を決定

かがわ21世紀大賞は、香川県のイメージアップやにぎわいづくりなど県政の推進に特に功労のあった方を顕彰する制度です。

学識経験者などから構成された選考委員会で審議の上、今回は次の2名2団体に決定しました。

1 被表彰者と主な活動内容

(五十音順・敬称略)

番号	被表彰者(敬称略)	主な活動内容
1	所在地 小豆郡小豆島町 <small>いっほんしゃだんほうじん</small> 一般社団法人 <small>しょうどしまかんこうきょうかい</small> 小豆島観光協会 S35.1 設立	島内の自治体と一体となり、小豆島町の2年連続「世界の持続可能な観光地 TOP100 選」選出や、土庄町の「日本版持続可能な観光ガイドライン (JSTS-D)」ロゴマークの取得などに尽力しているほか、自治体、観光関連事業者とともに小豆島で初となる観光長期戦略「小豆島観光ビジョン」を策定。また、予算の問題もあり継続が困難だった小豆島町の中山千枚田の「虫送り」の実施にあたり、火手(ほて)の有料化を提案・実現し、地域の宝である300年以上続く伝統行事を持続可能な観光コンテンツとして整備するなど活力ある地域づくりに貢献している。
2	神奈川県在住 <small>くさか なお</small> 日下 尚 現 レスリング選手 23歳	高松市出身。高松北高校卒業。 昨年9月にパリオリンピック予選を兼ねて行われたレスリング世界選手権において、初出場ながら男子グレコローマンスタイル 77kg級で銅メダルに輝き、香川県勢最初のパリオリンピック代表に内定し、県のイメージアップに貢献した。世界選手権では日本人としてグレコローマンスタイルにおいて最も重い階級でのメダル獲得である。
3	高松市在住 <small>つくだ まさみち</small> 佃 昌道 現 高松大学・高松短期大学学長 66歳	高松短期大学で1985年から秘書科助手(現在、経営学部教授)として教鞭をとり、2004年からは高松大学・高松短期大学の学長を務め、その建学の精神を重んじながら高松大学・高松短期大学の発展に努めるなど、香川県の教育に大きく寄与する傍ら、学会をはじめ様々な社会活動にも取り組んでいる。 香川発の食文化である「年明けうどん」の一層の普及と香川を代表する食であるうどんを切り口として、本県のブランド力の向上を図ることを目的に2014年度から2023年度まで10年間開催した「全国年明けうどん大会」では、大会準備委員会委員長を開催当初から務め、イベントの開催が困難であったコロナ禍を含めた10年間で、延べ30万人を動員し、当大会の安全で効果的な開催に寄与した。また、2003年から続く「かがわ県産品コンクール」では、2013年から11年間実行委員長を務め、本県を代表する新たな商品の発掘に尽力し、21年続く当コンクールの信頼の維持、開催の存続に大きく貢献している。本県の県産品振興に継続

		<p>的に貢献するとともに、大きな功績を残している。</p> <p>その他、平成 30 年 4 月には香川県文化芸術振興審議会会長に就任し、県の文化振興に熱心に取り組むほか、かがわ情報化推進協議会会長など地域活性化を推進する様々な団体の要職を務め、本県の発展に大きく寄与している。</p>
4	<p>び け ん B I K E N グループ</p> <p>一般財団法人 阪大微生物病研究会 所在地 大阪府吹田市 S9.6 設立</p> <p>株式会社 B I K E N 所在地 観音寺市 H29.5 設立</p>	<p>一般財団法人阪大微生物病研究会は、大阪大学発ベンチャーの先駆けとして昭和 9 年に設立され、今年 90 周年を迎える。一貫してワクチンの研究開発、製造に取り組み、現在、国内で最も多品目のワクチンを供給する。BIKEN が供給するワクチンは定期接種品目も多く、BIKEN が国内唯一の製造所であるワクチン（水痘、ポリオ）もある。</p> <p>昭和 21 年に開設された観音寺研究所（観音寺市八幡町）ではワクチンの製造を担っており、平成 23 年には新たな製造拠点（瀬戸町）を開設した。また、平成 29 年には、ワクチン生産事業を分社化し、田辺三菱製薬株式会社との合弁会社として、株式会社 B I K E N を設立。生産基盤のさらなる強化を図るなど人々の尊い命と健康を守るためのワクチンの研究開発、安定供給に取り組んでいる。</p> <p>将来のパンデミックへの取り組みとして、機動的な生産、研究開発を構築するため、新たに治験薬製造拠点を整備する。香川発、世界初の画期的なワクチンの開発をめざし、新たな感染症の脅威への対応力強化に資すると期待されている。</p>

2 表彰式

後日調整を行う。